

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2730
MIYAZAKI & KAGOSHIMA



ガバナー月信

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER



奉仕を通じて
平和を
田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

夢・誇り・挑戦
すばらしいロータリーへの再生



兼好
深尾兼好

天の岩屋戸

弟神須佐之男の乱暴狼藉を恐れた
天照大御神は天の岩屋に籠ってしまわれた。
高天原は常夜の闇の世界、ありとあらゆる悪が蔓延り
困り果てた八百万の神々は、計を案じた。
思金神がシナリオを書き、岩屋の前で芝居を演ずる。
クライマックスは天の宇宙の妖艶な舞。
気を魅かれた天照大御神を手力男が引き出した。
高天原天安河原宮(高千穂町)

国際ロータリー第2730地区
2012-2013年度
ガバナー 山下 皓三

10
2012

今月の表紙
鹿児島西ロータリークラブ会員
株式会社 シイツウ
代表取締役社長 深尾兼好会員に描いていただきました。



目次

頁

- 1 ガバナー挨拶
- 3 各クラブ会長挨拶
- 5 「福島キッズin鹿児島・宮崎」実施報告
- 9 ガバナー公式訪問随行記
- 10 ロータリーラジオキャンペーンについて
- 11 ハイライトよねやま 150号／お知らせ
- 12 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会 8月の寄付金傾向
- 13 7月出席率報告
- 14 トピックス 高鍋・西都・佐土原ロータリー・クラブ合同
ガバナー公式訪問の記事が掲載されました。
- 14 各クラブのお知らせ

●●●●●●●● ロータリーの行動規範 ●●●●●●●●

ロータリアンとして、私は以下のように行動する

1. すべての行動と活動において、高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。
2. 職業の経験と才能をロータリーでの奉仕に生かすこと。
3. 高い倫理基準を奨励し、助長しながら、個人的活動および事業と専門職における活動のすべてを倫理的に行うこと。
4. 他者との取引のすべてにおいて公正に努め、同じ人間としての尊重の念をもって接すること。
5. 社会に役立つすべての仕事に対する認識と敬意の念を推進すること。
6. 若い人々に機会を開き、他者の特別なニーズに応え、地域社会の生活の質を高めるために、自らの職業的才能を捧げること。
7. ロータリーおよびロータリアンから託される信頼を大切にし、ロータリーやロータリアンの評判を落としたり、不利になるようなことはしないこと。
8. 事業または専門職上の関係において、普通には得られない便宜ないし特典を、同輩ロータリアンに求めないこと。

四つのテスト

— THE 4-WAY TEST —

言行はこれに照らしてから

Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
Is it the TRUTH?
2. みんなに公平か
Is it FAIR to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
4. みんなのためになるかどうか
Will it be BENEFICIAL to all concerned?

職業奉仕とRI戦略計画

国際ロータリー 第2730地区
2012～2013年度 ガバナー

山下 皓三



ガバナー公式訪問も2分区(17クラブ)を残すのみとなりました。

今年度の公式訪問は、2730地区としては初めての試みとして合同例会のスタイルを多くの分区でしていただきました。皆様のご協力により日数を短縮し、充実した公式訪問が実施できましたことを深く感謝いたします。

会長・会長エレクト・幹事との懇談会とクラブフォーラムではCLP等についてのご意見を聞いたり、ご説明をすることによってほとんどのクラブでCLPについて検討をしていただくことになりました。ロータリーを学び・考え・行動するクラブづくりへのスタートを期待します。

CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)はクラブを活性化する最善の方法として国際ロータリーが開発した方法です。DLP(地区・リーダーシップ・プラン)の延長計画として奨励されています。

公式訪問のガバナー・アドレスで「RI戦略計画」の3つの優先項目と目標についてご説明いたしました。

優先項目は「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」の3つですが、公共イメージと認知度の向上の目標の中に「**職業奉仕を強調する**」とあります。

職業奉仕は、RI戦略計画でロータリーの中核となる5つの価値観(奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ)全てに直接関連しています。

ロータリー独自の分野である職業奉仕はロータリー全体の土台を成しますので、奉仕部門の中でも特に職業奉仕に力を注ぐようにということだと思います。ロータリーだけが職業分類システムと職業倫理の向上を基本にしています。

職業奉仕が効果的に実行されたときに公共イメージと認知度の向上につながり、これまで以上にロータリーの組織が強化されることを私たちは考えなければいけません。

ロータリー章典の 8.030、職業奉仕の基本原則

8.030、 1. 職業奉仕に関する声明

8.030、 2. ロータリアン間の取引関係

8.030、 3. 職業奉仕月間

に 2011 年 9 月 R I 理事会で修正を加え、8.030、 4. が追加されました。

8.030、 4. 職業奉仕のキーとなる言葉

ロータリアン、クラブと地区は以下のように職業奉仕を支える戦略を満たさなければ
ならない。

- ・新会員の勧誘や入会において職業と職業分類を強調すること
- ・クラブ活動における職業の強調方法を確認する
- ・ロータリーにおけるクラブレベルや地区レベルでの高潔性を伴ったビジネス上のネットワークをさらに強調する方法を見出す
- ・新世代を引き付けたり指導する方法として高潔性を持ってビジネスのネットワークに注意を向けるようにする
- ・4つのテストとロータリアンの行動規範の関連を強調して、これらのロータリーの価値に対する重要性を強調する

今年度の地区大会は「職業奉仕を強調する」をコンセプトにしました。会員の皆様に職業奉仕の理念を更に理解していただける研修や、効果的に実践できる展示などの内容を企画しましたので、皆さんと共に職業奉仕について考えてみませんか。

もっと多くの会員の方々がロータリアンとしての夢と誇りが持てるようになるための地区大会への参加をお待ちしています。

各クラブ会長挨拶

宮崎ロータリー・クラブ



会長 内田 五郎

本年度、宮崎RCは創立60周年を迎えます。宮崎と鹿児島にまたがるRI第2730地区では鹿児島RCに次ぐ2番目に古い歴史を誇るクラブです。

昭和28年2月17日火曜日に、間違いなく火曜日に創立されました。

以来毎週火曜日の12時30分に開会の点鐘が打たれて、今は故人となられた多くの会員や現会員により、脈々と規則正しく例会は開催されております。そして60年間、地区を構成するロータリー・クラブの一員として活動して参りました。

受け継がれた伝統、それは私たちに多くのことを教えます。

「宮崎RCに誇りを持つ、その伝統、そして集う会員に誇りを持つ」

私が宮崎RCに入会して、今までずっと感じる事は、先輩会員がやさしく接して下さることです。その様な態度、教えは30代だった私には、良き人生勉強であり、当時他界していた父親と接している様な喜びでもありました。この会員同士の人間関係は60年ずっと続いている宮崎クラブの伝統だと思います。

職業人である私共は、歳を重ねると新しい友人を作り難くなります。その様な中、このクラブで多くの友人を作ることは楽しいことであり、思い出深い人生を作ることで出来る会員が数多く在籍しています。

宮崎クラブには裏方として、献身的にクラブを支え続けてきた会員、続けている会員がいます。たとえばクラブを代表して、2730地区に出向している会員、委員会を支えている会員、奉仕活動だけでは留まりません。

本年度はこの歴史と伝統を大切に、改めて先人、先輩、友人に感謝する1年であり、60周年でありたいと思います。

宮崎南ロータリー・クラブ



会長 川野 一義

今年度、宮崎南ロータリー・クラブの38代会長に就任いたしました。

私自身は入会19年目を迎えました。この間、多くの素晴らしい方々と知り合うことができ、また、人間形成にとっても大変勉強になりました。

この度、2012-2013年度の会長を務めさせていただくことになり、これまでお世話になった当クラブに少しでも恩返しができるよう尽力いたします。

次年度のガバナー輩出クラブとしてこの1年間をいかに過ごしていくのかを考えますと会員皆様に大きなご負担をおかけすることも多くなることを念頭におきながらも、恒例となりました大淀川散策や少年少女球技大会の開催など、社会奉仕活動への取り組みを積極的に行っていきます。

また、若い会員から102歳までの幅広い年齢層を誇る当クラブの独特の和気あいあいとした雰囲気のを益々発展させながら、そこから会員増強にも注力し、大幅な会員の増加を目指していききたいと思います。

社会経済などのめまぐるしい変化の中で粘り強く対応しながら地域社会と共に存在感のあるロータリー・クラブを目指していききたいと思います。

宮崎東ロータリー・クラブ



会長 中村 健一郎

2730地区2012～2013年度ビジョンとして、山下皓三ガバナーは、「素晴らしいロータリーへの再生」を掲げられました。そして、「少人数のクラブは、その会勢に見合った特定の活動に焦点を絞ってください。委員会構成も、会勢に見合って柔軟に動き易い、相談し易いものに変えましょう。なにか一つのみんなが打ち込める企画をやってください。そこに向けてみんなで話し合いを重ねていくプロセスが、みんなの団結を育てていきます。クラブ活性化

の条件は、自主性、全員参加、多様性の認識と尊重、継続性、RC活動への熱意です。」との具体的な提案を示されました。

国際ロータリーは、2004年、小規模クラブに対して、簡易な委員会構成モデル(Club Leadership Plan)を提唱し、「全クラブがCLPプランを検討し、自クラブの充実、改善に役立つと思われる部分を採用すべきである」と推奨されています。少人数の当クラブは、前年度から、CLP採用に向けて定款・細則改正を実施すべく検討を開始しました。本年度は、CLPの狙いを積極的に活かす組織活動方針を実行します。

12ヶ月間の例会のうちの8回を、「先輩クラブ会長卓話：先輩クラブの活動紹介」のテーマで、2730地区中部分区のクラブ会長に、各クラブでのいろいろな取り組み・運営での工夫の実例を卓話の形でご紹介いただくことで、新風を東クラブ内に吹かせたくお願いし、快諾いただいています。

会員同士での日常的な知り合いと会内での情報交換のため、年度当初時点で9名のメンバーが登録している当クラブのfacebook(現在は非公開)に、大半のメンバー登録をお願いします。インターネットを使用しない会員には、よく使用する会員と2人1組になって利用方法を一緒に学んでもらい、必要に応じて資料を印刷して提供します。

串木野ロータリー・クラブ



会長 小原 功三

《基本方針》

本年度RI会長田中作次会長は「奉仕を通じて平和を」をテーマに掲げられました。このテーマを基本に、色々な分野において微力ながらも各方面に奉仕を通じて拡げていきたいと思ひます。

当クラブの最大の問題は、会員増強です。ここ4～5年会員の変動がありません。3年後に控えています創立50周年に向けて、3年後、後、会員数20名を目標に、今年度純増4名、最低でも2桁を目標に増強に努めていきたいと思ひます。そのためにもクラブを活性化し、地域にロータリーの情報を発信し、1人でも多くの方にロータリーを理解して頂けるように務めてまいりたいと思ひます。

《活動計画》

① 会員増強及び退会防止

3年後20名を目標に、今年度純増4名、最低でも2桁を目標に増強・大会防止に努める。

② 例会の充実と出席率のアップ及び卓話の充実

会員が十分に満足のいく例会づくりに力を入れ、メイクアップも含めた出席率の向上に努める。また、外部卓話、会員卓話の充実に努める。

③ 家族例会の開催

最大の理解者でもある配偶者及び家族にも参加してもらい、ロータリー活動を理解してもらおう。特に奉仕活動、外部卓話の際には積極的に呼びかけ、参加していただけるように努める。

④ 地域社会への知名度及びイメージアップ

地域社会活動に積極的に参加することや、現在行っている事業(友愛学園との交流会、ロータリー・クラブ旗争奪グラウンドゴルフ大会)を充実させることにより、地域の人々へのロータリー・クラブの認知を高めイメージアップを図る。



「福島キッズin鹿児島・宮崎」実施報告

奉仕プロジェクト部門
部門長 古木 圭介(鹿児島西RC)

期 日 平成24年9月19日(日)～23日(木) 4泊5日
招待者 小学4年生～6年生 28名
引率者 インターアクト2名、ローターアクト2名
学校教諭 1名、川内村教育委員会職員 1名 合計34名
第2730地区担当委員会 奉仕プロジェクト部門
新世代委員会(大茂委員長)

プロジェクトの経緯

東日本大震災が平成23年3月11日に発生。
同時に福島原発1号機の事故も発生し、現場から20km圏内は警戒地域となり住民は避難を余儀なくされました。
川内村の一部も警戒地域になり川内村住民の多くが各地に避難しました。川内小学校に通っていた児童たちも親と共に各地にばらばらになってしまいました。
伊藤ガバナー年度で原発事故が発生し、支援のための募金活動が開始されました。長峯ガバナー年度に活動は引き継がれ、福島県の第2530地区との交流が始まりました。そして、川内村のばらばらになってしまった小学生たちを夏休みの短期間でも一緒に過ごさせる企画が生まれました。その計画は山下ガバナー年度に引き継がれ2012年8月に実現する運びとなりました。また、この計画は大迫ガバナー・エレクトにも引き継がれることになっており、来年度も地区の奉仕活動として実施される予定です。
大きな災害や事故に対する支援としては小さな力かも知れませんが、未来ある子供たちの絆を育み、将来の日本を背負う若者たちを支援するものとなると確信しています。

今年の計画概要報告

●8月19日(日)

鹿児島空港着16時30分 空港では古木奉仕プロジェクト委員長、大茂新世代委員長、岩澤ローターアクト委員長が出迎える。
福島県第2530地区新世代委員長の安藤元二さんが同行してこられました。
専用バスにて鹿児島空港⇒鹿児島県立霧島自然ふれあいセンターへ。
17時30分より霧島自然ふれあいセンターにて入館式。山下ガバナー、長峯パスト・ガバナー他、地元のロータリアンが出迎え簡単な歓迎式を行う。
手配は前田ライラ委員長と霧島RCの会員がしてくださいました。
夕食はバイキング方式。



●8月20日(月) 霧島登山と交流会

6時30分朝食の後、専用バスにてえびの高原に向かう。
本日はまず韓国岳登山に挑戦。
リーダーは古木(鹿児島西RC)、サブリーダーに日高(鹿児島西RC)、山田(鹿児島東南RC)、そして中村アイ子(登山経験者)、柳田容子(えびのエコミュージアム、インストラクター)、稲垣知代子さん(教員経験者)。
9時15分登山開始 えびの高原駐車場～韓国岳へ
途中疲れて遅れる児童もいるが、概ね元気な子供たちばかりである。
遅れる児童を励ましながらかつて結局全員が11時15分に韓国岳(1700m)の山頂に立つことができた。
山頂でお弁当を食べ始めたらずが降り出し、早々に下山する。





えびの高原ではMRTラジオ局が待っており生中継で放送された。汗を流すため前田温泉（ガジロが湯）に前田さんのご好意で入ることができた。児童は大喜びで汗を流し、元通りの元気を取り戻した。

15時に霧島市立高千穂小学校での交流会に臨む。スポーツ少年団の児童たちや保護者、先生方、そして霧島RCの山口会長をはじめ会

員の方々が集まってくださいました。

まずは、九面太鼓のチームが歓迎の演奏、さらに吹奏楽など。驚くほど沢山の児童たちが集まり大いに盛り上がり、川内村の児童たちも太鼓のたたき方を習ったりゲームに興じたりとあっという間に一体となって楽しむことができた。

最後に全員で合唱をし、結びにそれぞれの小学校の代表がお別れの言葉と感謝の言葉を述べて終了。

また、霧島RCの皆さんの手配でかき氷のサービスもあった。汗をかいた生徒たちに大好評だった。



●8月21日（火） 霧島⇒知覧⇒指宿

霧島自然ふれあいセンターを9時に出発。専用バスで一路南下し知覧へ向かう。

10時30分、知覧平和祈念館に到着。戦争を知らない子供たちに館の方から特攻隊の青年たちがどんな思いで戦争に駆り出され、どんな思いで死んでいったかなどを聞き、子供たちは真剣なまなざしで聞き入っていた。良い平和教育になったと思う。

12時平和記念館を立ち、昼食は開聞町の唐仙峡でそうめん流しを味わう。回転するそうめん流しは珍しいのか大喜びであった。さらに指宿名物砂蒸し温泉も体験した。

指宿での宿舎は指宿シーサイドホテル。ここに2泊する。

夕食時には山下ガバナーをはじめ指宿RC玉城会長らが駆けつけて挨拶していただいた。

また、福島県の第2530地区新世代委員長の鈴木尚子さん、インターアクト委員長の桑原勇健さんも合流された。

宮崎南RCの大隈栄子さんも来年の準備のために参加された。



●8月22日（水）指宿にて

7時30分朝食

8時30分ホテルを出発して指宿市立魚見小学校へ向かう。

魚見小学校では29名の児童たちが歓迎の準備をして迎えてくれた。また、指宿RCの玉城会長をはじめ多くの会員の方々も朝早くから駆け付けてくださった。

ゲームに始まり、手品、話し合いの時間等で楽しく過ごした。

また、海ガメの孵化を見学することができたのも大変貴重な体験となった。

11時に魚見小学校を出発。

11時10分、知林が島海岸に到着し、いよいよ待ちに待った海での活動である。



指導は冒険家で知られる野元尚巳さんとそのチーム5人で当ってくださいました。安全に万全を期しライフジャケットなども用意されていた。

海での活動の中でも珍しい「シーカヤック」体験は好評であった。最初は漕ぎ方も分からず戸惑い気味だった児童たちも、しだいに要領をつかみ相当沖まで漕いでいく者もいた。シーカヤックは2人一組で漕いだ。

原発の影響を受け昨年からは海水浴もままならない状況下で過ごした子供た

ちにとって、この海での体験はきっとエネルギーを
発散する場となったことだろう。

ロータリアンが用意してくださったスイカ割りも大い
に盛り上がった。

午後3時から引き潮でつながった知林が島に全員
徒歩で渡る。



楽しい時はあっという間に過ぎ夕方4時30分にホテルに戻り入浴。

18時に夕食。

●8月23日(木) 指宿⇒鹿児島市⇒鹿児島空港

いよいよ最終日となった。

6時に起床。朝食をすませただちに出発。専用バスにて鹿児島市へ向かう。

この日は鹿児島市長の森さんの計らいで「かごしま水族館」に招待していただく。しかも平素は9時30分開
館なのを特別に8時30分に開けていただいた。そして、イルカのショーも川内村小学生だけに早目にやっ
ていただき皆大喜びであった。

荻野館長をはじめスタッフ全員でお世話をいただいたことに深く感謝したい。

約2時間の見学を堪能し、昼食会場に向かう。

昼食はドルフィンポートのレストラン・ポルトカーサでスパゲッティ、
ピザを楽しんだ。このメニューも子供たちには好評であった。

12時15分、ドルフィンポートを立ち鹿児島空港へ向かった。

13時30分鹿児島空港着後、チェックインし、14時15分鹿児島
空港から羽田へ飛び立った。



以上が5日間の日程である。

なお、この行程には地区新世代委員長の大茂健二郎さん(枕崎
RC)が全行程同行してお世話をしてくださった。

今回のプロジェクトには地区のローターアクト委員会、ライラ委員会、
そして霧島RC、指宿RCの支援を受けました。

また、前田霧島市長には関平温泉水のペットボトル360本を、また薩摩酒造の本坊社長にはお茶のペットボ
トル120本の提供をいただき感謝いたします。

知覧平和祈念館、かごしま水族館、前田温泉にも無料で施設を提供していただきました。

今回のプロジェクトが多くの方々からの支援で無事に終了し、子供たちから最後に「まだ帰りたくない!」という声
を聴きたいへん嬉しく思いました。

この計画は来年度からも継続ということですので今回のことを踏まえ、より充実して有意義なものになるよう
関係者と協議していきます。

今夏お世話になった方々・団体(順不同 敬称略)

前田終止霧島市長、前田地区ライラ委員長、霧島RC(山口会長)、高千穂小学校(竹内一久校長)

スポーツ少年団と保護者、霧島自然ふれあいセンター(永田所長)

えびのエコミュージアム(柳田インストラクター)、中村アイ子(登山指導)、日高好久(登山指導)

山田青少年交換委員、稲垣(登山指導)、知覧平和祈念館、薩摩酒造(株)(本坊社長)

指宿RC(玉城会長)、野元尚巳(冒険家・シーカヤック指導)とその仲間たち

森博幸鹿児島市長、荻野かごしま水族館館長とスタッフの皆さん



●●●●● 災害地訪問報告 郡山市、川内村、三俣町、富岡町の現状を見て ●●●●●

9月13日 福島県川内村と被災地を訪問

来年度の継続事業を実施するに当り、福島県を訪問して現地で関係者の話を聴き、さらに深刻な問題を抱える被災地を第2530地区の安藤新世代委員長に案内していただき視察してきました。

行程 9月12日(水) 鹿児島⇒東京経由⇒郡山(泊)

9月13日(木) 終日、被災地の視察

郡山市から車で約60キロ東に位置する川内村を訪問。

安藤さんの車の中には線量を測定する器具が搭載されている。

移動するたびに少しずつ線量の数値が上下する。

郡山市内では0.22ミリシーベルトくらいであるが、警戒地域が近づくにつれ線量の値が増えていく。0.26 0.65 0.66・・・といった具合に変化する。

しかしおかしなことに川内村では0.06~0.08とかなり低い。この数値は避難先になっている郡山市内よりずっと低い値である。

案内の安藤さんの説明では線量計の数値が1.5ミリシーベルト以上を示した場合は要注意だそうだ。

川内村の東の端は警戒区域にあたる20kmに入っている。しかし、風向きのせいであろうがここでの数値はなんら危険ではないものである。

しかしながらこの村にはなかなか住民が戻ってこない。

東日本大震災の前には2800人いた人口が現在は約750名とのことである。

特に幼い子供を持つ家族は、帰りたくても放射線の心配で子供たちを帰せないと言う。

まず教育長にお会いした。今夏の子供たちの招待に対して何回も御礼を言われた。

その後、副村長にお会いして川内村の置かれている苦境をお聴きした。

老人も帰村を望んでいるが老人用の施設が村にはないので帰れないとのこと。

子供をもつ家族は放射能に影響されやすい子供の健康を考えるとなかなか帰村の決断がつかないとも言っておられた。

避難先の郡山より線量の少ない川内村ではあるが原発に近いと言うことで帰る決断がつかないのであろう。

さらに村立川内小学校を訪問した。

9年前に新築した木造の立派な学校である。廊下も教室も広々とした解放感があり校庭は街中の学校の倍以上も広い。

校長先生からも御礼の言葉をいただいた。

実情は震災前に120名いた児童が現在は16名に減少してしまった。

広い校舎にはほとんど人影はない。

当日は半分以上の児童が地区外の研修で出ているので、わずかに残った児童の教室を覗くと、この夏鹿児島を訪れた児童が3人ほどいた。早速持参した写真を見せながら話をしたが皆楽しかった思い出にふけていた。

川内村を出て20km警戒圏内の淵をめぐるようにほとんど無人の三俣町の一部や葛尾村、浪江町などを視察する。

警察の車だけが目立つ。最近急増している空き巣の警備だそうだ。後は除染が始まっているため防具を着装した作業員の姿だけである。

マスクにはあまり取り上げられない地域なのかもしれない。

普段ならたわわに実っているだろう畑は雑草で覆われている。見た目は緑豊かな普通の里村も空き家になっており町の商店街はゴーストタウン化している。

目に見えない放射能の恐怖は想像を超えるものであった。

時間の経過とともに、このような状況に鈍感になりがちな我々であるが、我々ロータリアンとして忘れることなく少しでも地区や各クラブでできることを考え続けてもらいたいと思った。そして今私たちが置かれている環境がいかに恵まれているかも地域の人たちに伝えていければと思いました。小さな力かも知れないが第2730地区の「福島キッズ in 鹿児島・宮崎」のプロジェクトが子供たちに希望や夢を与えることを信じて継続することに皆さんのお力をお貸しください。



川内村役場に掲げられた標語

ガバナー公式訪問随記

宮崎北部分区

随行者 地区幹事 深尾兼好

午前6時発、鹿児島中央駅からガバナーと二人、JR日豊線で延岡に向かう。たっぷり4時間半、充分疲れて延岡ホテルメリージュで安藤G補と落ち合う。気を引き締めて11時、延岡中央RC甲斐会長、阿部幹事、池田エレクトとの懇談会に臨む。60名への



写真①

会員増強を目標、そして、松林の植林等奉仕活動にも積極性が見られる。12:30～延岡中央、延岡、延岡東3クラブの合同例会。ガバナー・アドレス、クラブフォーラムと順調に進んで、質疑応答。いきなり延岡RCから、「現状に満足しているのでCLPの導入は望まない」の声。前途多難を思わせたが「今日の話で検討の余地はある。」とのことで「ほっ!」。延岡東RCからは、クラブの自主性を大事にしたいが、意識的にはCLPを理解する。延岡中央RCからは、地区との整合性を図る上で、形ではなく内容の導入を検討したいという。それぞれに前向きな意見発表があり、熱心な質疑が行われた。フォーラム終了後、「ガバナーと地区幹事の熱意に共感してCLPに対する見方が変わった」と言ってくれる会員もいて、思わず手を握ってしまった。15:05～延岡RC山崎会長、石丸幹事、森エレクト、武井副幹事と懇談。さすが60周年の名門クラブ、会長から「今なすべきはロータリーについての研修」という発言。16:20～延岡東RC田島会長、藤原副会長、有村幹事、高橋エレクトと懇談、社会奉仕基金を蓄え、勉強会にも熱心、まじめなクラブとの印象を受けた。終了後、安藤G補の車で日向に移動、メンバーと日向の夜を満喫した。



写真②

翌8月4日は8:40～喜重会館で4クラブのクラブ・リーダーとの面談。日向RCは坂元会長、大原幹事、日高エレクトが出席、資質を上げる勉強会に意欲的。日向東RCは中崎会長、寺原幹事、児玉エレクトがCLP導入の成果について、紆余曲折の末、横の連携のある組織に生まれ変わり、全員参加の活気が生まれたと報告。日向中央RCは志賀会長、北御門幹事が出席。少人数だが和気藹々のクラブでイベントも多いとか。門川RCは樋口会長、赤沢幹事が出席、会員8名の小クラブで増強が課題だが、地方の現状として厳しいと訴えた。



写真③

午後からは助っ人＝川平筆頭副幹事、天本副幹事も合流して4クラブ合同例会。ガバナーアドレス(写真①)、フォーラム(写真②)でのCLP解説の後、質疑応答。安藤G補のご配慮で各クラブの本音が覗えた。4クラブともにCLPに対しては理解のある発言が見られたが、枠組みだけが先行し、内容の理解に

関しては今後の研修が必要だと感じた。夕方5時から田村、鮫島両PDGも出席されて宮崎北分区の懇親会(写真③)、何と芸達者の多い事。更に雨の中、ひょっこ祭り(写真④)で盛りあがる日向の街に練り出し2日目の夜も楽しく呑んだ。翌日は列車の時間まで観光。壮大な馬ケ背断崖絶壁の柱状節理(写真⑤)に感動、ガバナー随行の余禄かしらん。終始ご同行頂いた安藤G補に感謝。



写真④



写真⑤

♪♪ ♪ ローターラジオキャンペーンについて ♪♪

公共イメージ部門長 水居 徹
 広報IT小委員会委員長 山村 健司



国際ロータリー第2730地区では国際ロータリー広報補助金を活用して、ラジオキャンペーンをおこなっております。東日本大震災でもその価値が再認識されたラジオを使い、地域社会に向けて「ロータリーと一緒に考えましょう」と呼びかけ、ロータリーの公共イメージの認知と拡大を目指すものです。

9月15日より、鹿児島はMBCラジオ、宮崎はMRTラジオにて30秒スポットとして放送がスタートしております。

鹿児島6名、宮崎6名の12名のロータリアンが、20秒ほど語り、ナレーターが最後に、宮崎県内では「ロータリーの理解」、「ロータリーと一緒に考えよう」というテーマで締めます。

鹿児島県内では、地区大会の講演や講堂展示の紹介と勧誘を呼びかけます。

● 出演者の選任について

ガバナー補佐にご協力いただき、各クラブから推薦者を募りました。結果17名の応募があり、公共イメージ部門にて投票により鹿児島6名、宮崎6名を選考いたしました。

選考された12名は下記のとおりです。

(敬称略)

宮崎6名	佐土原RC 大田 忍	宮崎中央RC 黒木陽子	都城中央RC 栢木順子
	宮崎RC 藺田有美	日向東RC 土田孝男	日向中央RC 北御門孝
鹿児島6名	枕崎RC 大茂健二郎	国分中央RC 稲留速夫	鹿児島西RC 南 徹
	鹿児島RC 奥山 卓	薩摩川内RC 永留博文	穎娃RC 祝迫哲哉

皆様には電話等で取材させていただき、原稿をまとめ上げ、お忙しい中、スタジオに来ていただき収録作業を行ないました。ほとんどの方が数回の録音でOKが出るなど日頃の例会活動の成果かもしれません。

11月まで放送はされますので、ぜひ、MBCおよびMRTラジオをお聞きください。





今月のトピックス

1. 寄付金速報 — 米山月間に向けて、好調な滑り出し —
2. 理事会・評議員会開催報告
3. 韓国の学友から10万円の寄付
4. いよいよ10月は米山月間！ — 資料のご案内 —
＜締め切り間近！＞ 第4回中国学友会総会のご案内

今月のピックアップ記事

3. 韓国の学友から10万円の寄付

韓国ソウル市在住の米山学友、李キョンヨブさん(1996-97/金沢RC)から先月、米山記念奨学会に10万円のご寄付を頂きました。

李さんは母国に帰国後、剣道具の製造販売会社を設立し、「剣道名家」ブランドで全日本選手権優勝者など日本や世界各国に顧客を抱えています。また、2010年からは韓国米山学友会の監事に就任。2011年10月にはホームカミング制度で来日し、第2610地区のロータリアンとの旧交を温めました。

「いつも心に米山奨学生の誇りを刻んでいる」と語る李さんは、今回のご寄付について、次のようなメッセージを送ってくれました。

《李キョンヨブさんより》

「帰国前、世話クラブが開いてくださった歓送パーティーで、私は「いつかは奨学金を与える立場になって、恩返ししたい」と、お話ししました。以来、自分にできる範囲で社会奉仕活動に励んできましたが、今年から少しずつでも米山記念奨学会への寄付を始めることにしました。「お父さん」と呼ばせていただいている金沢RCの渡辺次男さんをはじめ、ロータリーのご縁で出会うことができた素晴らしいロータリアンの皆さんとの友情や人間関係も、奨学会への寄付と同じように、一生続けられるように最善を尽くします」

その他の記事は、ぜひPDF版をご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight150_pdf.pdf

お知らせ

＜締め切り間近！＞ 第4回中国学友会総会のご案内

中国米山学友会総会が、今年は10月27日(土)に上海で開催されます。同学友会総会は、毎年参加者から高い評価をいただいています。

今年の総会を主催する張 豪会長からは「日本のロータリアンの皆さまにぜひお越しいただきたいです」とのメッセージをいただいています。関心のある方はぜひご参加ください。

申込締切日は9月30日です。

詳細は、下記サイトをご覧ください。

→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/report/active/detail_508.html

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

8月の寄付金傾向

8月分合計額 98,589,292円
累計額 283,552,985円 (前年同期比1,147万円増)

参考 前年度8月分合計額：92,481,660円、累計額：272,079,479円

普通寄付金

8月当月 49,551,050円
8月末累計 186,654,270円
(前年度比 0.68%増)
(// 127万円増)
(予算達成率 46.7%)

普通寄付金上期分は1,772クラブ(78%)から納入されました。(内、年額納入は9.5%) 7地区が納入割合90%を超えました。(昨年度は9地区) 普通寄付に係わる確定申告用領収証をご希望される場合の申請方法が変更されましたので、詳細をご確認される場合には当会ホームページをご覧くださいませようよろしくお願いいたします。

普通寄付金納入状況・上期分 (納入数/クラブ数)

地区	納入数/クラブ数	納入割合	地区	納入数/クラブ数	納入割合
2500	30/66	45%	2610	50/66	76%
2510	41/72	57%	2620	52/78	67%
2520	38/81	47%	2630	72/80	90%
2530	55/67	82%	2750	70/85	82%
2540	19/42	45%	2760	72/82	88%
2550	29/50	58%	2780	54/63	86%
2560	48/57	84%	2640	64/73	88%
2570	49/52	94%	2650	71/97	73%
2770	62/75	83%	2660	71/83	86%
2790	69/84	82%	2670	55/74	74%
2800	49/52	94%	2680	67/74	91%
2820	40/59	68%	2690	57/67	85%
2830	32/41	78%	2700	46/60	77%
2840	42/47	89%	2710	67/74	91%
2580	63/71	89%	2720	47/75	63%
2590	56/62	90%	2730	40/64	63%
2600	51/56	91%	2740	44/57	77%

合計：納入数 1,772RC

地区ロータリークラブ数 2,286RC

普通寄付納入実績 8月31日現在、当会入金分

米山功労クラブ一覧表(2012/8/1～2012/8/31)

地区コード	クラブ	入金日	表彰名
2730	延岡	2012.8.2	第22回 米山功労クラブ
2730	鹿児島西	2012.8.2	第9回 米山功労クラブ
2730	鹿児島南	2012.8.27	第14回 米山功労クラブ

特別寄付金

8月当月 49,038,242円
8月末累計 96,898,715円
(前年度比 11.77%増)
(// 1,020万円増)
(予算達成率 10.8%)

8月末累計額は前年同期比11.8%増、約1,020万円の増加となりました。単月においても約610万円増です。10月は米山月間です。9月中旬には月間に向けて、全クラブに米山月間用資料をお送りいたします。会員皆様に当会の奨学事業内容を認知していただくツールとしてご活用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

創立記念寄付クラブ(単位:万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2530	会津若松	34.4	2590	川崎幸	5
合計		2クラブ	合計		39.4

ガバナー公式訪問記念寄付クラブ(単位:万円)

地区	クラブ名	金額	地区	クラブ名	金額
2590	横浜戸塚東	10	2760	名古屋大須	10
合計		2クラブ	合計		20

☆高額寄付者(一度に100万円以上の寄付)

D2840 伊勢崎RC 辻 健夫氏 101.6万円
累計 145.9万円

☆学友寄付

*李 キョンプ氏(韓国/1996-97年/金沢大学大学院/金沢RC)
李さんは米山奨学生時代、経済的な面はともかく精神的にも大変充実した留学生生活を過ごしました。この感謝の気持ちを表現したいと当会へ10万円のご寄付を日本にいる知人を通じて送っていただきました。(詳細はハイライトよねやま150号をご覧ください)

☆その他

D2760 名古屋栄RC 20万円 ガバナー補佐訪問記念

米山功労者一覧表(2012/8/1～2012/8/31)

地区コード	クラブ	氏名	入金日	表彰名
2730	延岡	一万田 凡人	2012.8.2	第3回 米山功労者マルチプル
2730	延岡	森 利明	2012.8.2	第4回 米山功労者マルチプル
2730	延岡	蓑田 征一	2012.8.2	第4回 米山功労者マルチプル
2730	宮崎西	山元 啓司	2012.8.8	第1回 米山功労者
2730	鹿児島西	原 正親	2012.8.2	第6回 米山功労者マルチプル
2730	鹿児島西	海江田 卓	2012.8.24	第1回 米山功労者

RI第2730地区 7月出席率報告

地区	クラブ名	出席率	会 員 数			
		%	12/7/1	7月末	女性	増 減
宮崎県北部 (7RC)	延岡	87.04	70	70	5	0
	延岡東	99.43	47	47	0	0
	延岡中央	92.00	53	53	4	0
	日向	80.71	24	24	2	0
	日向東	86.71	34	35	5	1
	日向中央	81.25	17	17	2	0
	門川	68.75	8	8	0	0
	平均及び合計	85.13	253	254	18	1
宮崎県中部 (9RC)	宮崎	95.30	90	92	6	2
	宮崎西	93.65	79	79	6	0
	宮崎北	92.45	67	69	9	2
	宮崎南	75.40	32	32	4	0
	宮崎中央	89.67	46	47	6	1
	宮崎東	81.25	23	24	1	1
	西都	88.68	24	23	1	-1
	佐土原	88.00	23	23	2	0
高鍋	85.80	46	47	1	1	
	平均及び合計	87.80	430	436	36	6
宮崎県西部 (7RC)	えびの	92.04	22	24	4	2
	小林	89.86	37	37	1	0
	小林中央	97.00	11	11	0	0
	都城	86.79	54	53	5	-1
	都城北	97.29	46	50	4	4
	都城西	97.55	47	47	1	0
	都城中央	87.50	31	31	4	0
	平均及び合計	92.58	248	253	19	5
宮崎県南部 (3RC)	日南	96.80	32	32	1	0
	日南中央	87.50	19	19	1	0
	串間	78.13	16	16	1	0
		平均及び合計	87.48	67	67	3
鹿児島県北部 (7RC)	出水	78.57	41	42	3	1
	阿久根	92.35	46	46	9	0
	川内	90.00	54	55	0	1
	薩摩川内	84.27	24	25	3	1
	串木野	85.71	7	7	0	0
	宮之城	95.31	16	16	4	0
	大口	73.42	20	20	1	0
	平均及び合計	85.66	208	211	20	3
鹿児島県西部 (5RC)	伊集院	76.04	26	25	2	-1
	加世田	100.00	1	2	0	1
	枕崎	79.52	21	21	1	0
	穎娃	75.00	29	29	0	0
	指宿	82.46	32	32	1	0
	平均及び合計	82.60	109	109	4	0
鹿児島県中部 (5RC)	霧島	72.60	20	21	0	1
	国分	85.00	49	50	7	1
	国分中央	86.79	26	27	2	1
	加治木	100.00	31	33	2	2
	始良	72.22	18	18	1	0
	平均及び合計	83.32	144	149	12	5
鹿児島県東部 (8RC)	志布志	73.07	21	22	2	1
	志布志みなと	80.64	31	31	1	0
	串良	87.77	36	36	1	0
	鹿屋	87.50	41	48	3	7
	鹿屋西	90.43	59	59	8	0
	かのや東	88.95	41	42	0	1
	きもつき	73.85	28	28	0	0
南九州大崎	77.78	27	27	0	0	
	平均及び合計	82.50	284	293	15	9
鹿児島県市内 (10RC)	鹿児島	72.59	61	60	0	-1
	鹿児島南	74.31	42	42	3	0
	鹿児島西	86.36	79	80	0	1
	鹿児島東南	75.17	31	31	0	0
	鹿児島中央	82.74	55	57	3	2
	鹿児島西南	78.85	13	13	1	0
	鹿児島城西	77.85	31	32	4	1
	鹿児島東	76.83	22	22	3	0
	鹿児島北	88.89	23	25	2	2
鹿児島サザンウインド	84.49	48	49	10	1	
	平均及び合計	79.81	405	411	26	6
奄美県 (3RC)	奄美	70.00	59	59	0	0
	奄美中央	79.01	49	51	0	2
	奄美瀬戸内	69.00	25	25	1	0
		平均及び合計	72.67	133	135	1
全体の平均及び合計		83.95	2,281	2,318	154	37

8月23日(木) 高鍋・西都・佐土原ロータリー・クラブ合同
ガバナー公式訪問の記事が掲載されました。



☒ **ロータリーの活動楽しもう**
西都、佐土原、高鍋の3ロータリークラブの合同例会が23日、西都市のウエディングパレス敷島であり、国際ロータリー第2730地区(宮崎、鹿児島)の山下皓三ガバナーが公式訪問した。写真。

山下ガバナーは両県にある64クラブを統括する立場で、各クラブを公式訪問し、社会奉仕を中心にした活動について各クラブと意見を交わしている。
例会には約100人が出席。山下ガバナーは地区の基本方針「夢、誇り、挑戦」を説明。公共知名度の向上や女性を含めた会員数の増加、ビジネス、社会状況の変化に対応する活動の必要性を取り上げ、「夜の懇親会が楽しかった、ではいけない。やはり活動を楽しまなければロータリークラブではない」と訴えた。

8月29日(水)
宮崎日日新聞掲載

お知らせ

●小林中央ロータリー・クラブ

例会変更のお知らせ

- ※ 9月25日(火) 早朝例会 → 『交通安全運動』に変更
時間：午後1時より 場所：国道221号線三本松駐車スペース
- ※ 10月9日(火) 交通安全運動 → 『早朝例会』に変更
時間：午前6時30分より 場所：未定

●国分ロータリー・クラブ

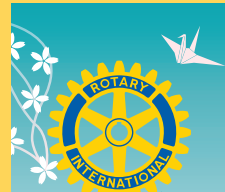
例会変更のお知らせ

- ※ 10月11日(木) 夜の例会 → 10月12日(金) 夜の例会(ホテル京セラ)
友好クラブ、小矢部ロータリー・クラブ歓迎例会

●鹿児島西南ロータリー・クラブ

例会変更・休会・プログラムのお知らせ (10月プログラム)

- | | | |
|----------------------------------|-----------|-----------------------------|
| ※ 10月10日(水) | 10月 3日(水) | 公式訪問前のクラブ協議会
(ガバナー補佐訪問) |
| 職場訪問の為、青雲会病院に変更致します。(南RCと合同) | 10月10日(水) | 職場訪問(青雲会病院) |
| ※ 10月17日(水) | 10月17日(水) | ガバナー公式訪問
(鹿児島南RC・西RCと合同) |
| ガバナー公式訪問例会・3クラブ合同の為、サンロイヤルホテルに変更 | 10月24日(水) | 外部卓話 |
| ※ 10月31日(水) | 10月31日(水) | 定款に基づき休会 |
| 定款に基づき休会 | | |



Peace through Service

夢・誇り・挑戦
Dream・Pride・Challenge
すばらしいロータリーへの再生



深川 純一

黒田 正宏

田中 毅

小船井 修一

RI 研修セッション

大会2日目 15:40~

モデレーター

パスト・ガバナー
深川 純一
(伊丹RC)

マルチプルPHF、ベネファクター、メモリアルコントリビューター、米山功労者、1990-91年度RI第268地区ガバナー、1992-93年度RI規定審議会代表議員、各地区大会RI会長代理8回、各地区大会記念講演講師、各地区大会パネリスト、各地区セミナー講師、各地区IM講師等。

2011-12年度RI職業奉仕推進委員長
黒田 正宏
(八戸南RC)

アーチ・克蘭フ・ソサエティ会員、ベネファクター、米山功労者、RI第2830地区ガバナー2回、RI規定審議会代表議員、RIMC、RI研修リーダー、ロータリー日韓親善委員会連絡幹事、RI会長代理、RRFC、2009-11年度RI理事、2012-13RI運営審査委員会委員、恒久基金日本委員会委員長、RLI日本支部委員長。

パスト・ガバナー
田中 毅
(尼崎西RC)

マルチプルPHF、ベネファクター、マルチプル米山功労者、1996~97年度第2680地区ガバナー、2001年、2004年規定審議会代表議員・同座長、2007年3月RI超我の奉仕賞受賞、2010年7月源流の会(ロータリー・アーカイブス)創立会長、2011年RLI相談役、RI会長代理。

パスト・ガバナー
小船井 修一
(釧路RC)

RI2500地区財団委員長、RI2500地区研修リーダー、規定審議会代表議員(代表世話人)、メジャードナー、PHS創始会員(ポールハリスソサエティ)、1999-00年度釧路ロータリークラブ会長。2002-03年度RI2500地区ガバナー。2008-10年度恒久基金日本委員会委員。2012年RI2550地区(栃木)会長代理。

2012-13年度 国際ロータリー第2730地区 地区大会開催のご案内

開催日:2012年11月9日(金)・10日(土)・11日(日)
会場:城山観光ホテル・鹿児島市民文化ホール

9日(金)	10日(土)	11日(日)
●記念ゴルフ(かごしま空港36カントリークラブ)	●地区諮問委員会朝食会	●第二本会議
●地区指導者セミナー	●ガバナー補佐・地区委員長・クラブ会長 ・幹事協議会	●市民公開講座
●地区財務委員会	●第一本会議 ●RI研修セッション	●フェアウェルパーティー
●大会決議委員会	●家族親睦プログラム	●友愛の広場
●登録・資格審査・選挙管理	●会員交流大懇親会	
●RI会長代理晩餐会	●ロータリー広報館 ●友愛の広場	

市民公開講座

「ガウディに挑む男を追う!!」

—職業人としての使命—

サグラダファミリア建築に携わる彫刻家外尾悦郎。その匠を長期にわたって取材し、NHKのハイビジョン特集で放送した星野真澄氏。その映像を交え、情熱を映像化する職業人としての使命を語っていただきます。



日時: 2012年11月11日(日)

受付: 12:30~ 開演: 13:00~

会場: 鹿児島市民文化ホール(第二ホール)

プロフィール

1983年、長野県生まれ。92年NHK入局。「クローズアップ現代」「NHKスペシャル」「プロジェクトX」などの番組ディレクターを担当。「二人の旅路~日中 激動を生きた京劇夫婦」でギャラクシー賞受賞。

講師 NHK社会情報番組部 プロデューサー **星野 真澄氏**
(ほしの ますみ)

● 地区指導者育成セミナー

「今、なぜ職業奉仕なのか?」

—職業奉仕の理念と実践—

日時: 11月9日(金)

13:30~15:30

会場: 城山観光ホテル
(ガレリア)



2011-12年度
RI職業奉仕推進委員長

セミナー
講師

黒田 正宏

ロータリー広報館

日時: 11月10日(土)

11:00~16:00

会場: 鹿児島市民文化ホール
(第二ホール)

ロータリーとは何か? どのような活動をしているのか? 一言では言い尽くせないロータリーを映像や故郷の「匠」行動展示会で紹介します。



● 故郷の「匠」行動展示

日時: 11月10日(土)

11:00~16:00

会場: 鹿児島市民文化ホール

(第二ホールロビー・ステージ・エントランス)

ロータリーは職業人の集まりです。その専門的な知識や技術をもって社会に貢献することが本分です。様々な職業の実演を通じてロータリズムの「職業奉仕」を再認識します。



※写真はイメージです。

● クラブ活動報告パネル展示 「Humanity in Motion」

日時: 11月10日(土) 11日(日)

11:00~16:00 8:30~11:00

会場: 鹿児島市民文化ホール(第二ホール2Fロビー)

2730地区64クラブの奉仕活動や事業の記録をパネルで一堂に展示。「すばらしい活動」として3クラブにガバナー賞が授与されます。



● 友愛の広場

日時: 11月10日(土) 11日(日)

11:00~16:00 8:30~11:00

会場: 鹿児島市民文化ホール(エントランス)



お互いの親睦を深めながらゆっくりとおくつろぎください。お茶などの軽なお飲み物をご用意しています。

● 家族親睦プログラム

「菊祭り・島津家伝統と近代産業遺産巡り」

日時: 11月10日(土) 13:00~16:30

場所: 仙巖園、尚古集成館、異人館

参加料: 無料



● 会員交流懇親会

日時: 11月10日(土) メインアトラクション

16:30~20:30

会場: 城山観光ホテル
(エメラルドホール)

神話の邦の
ファッションショー

地区をあげてのローターアクトプログラム。「日本神話」を取り上げた「神話の邦のファッションショー」。古代の衣装をまとった神々が登場し、古代音楽の演奏に合わせて展開します。



地区大会を楽しもう!!

鹿児島ですばらしいロータリーについて考えよう！



2012-2013国際ロータリー第2730地区 地区大会のご案内

開催日:2012年11月9日(金)・10日(土)・11日(日)
会場:城山観光ホテル・鹿児島市民文化ホール

9日(金)	10日(土)	11日(日)
●記念ゴルフ(かごしま空港36カントリークラブ)	●G補・地区委員長・クラブ会長	●第二本会議 (市民文化ホール・第二ホール)
●地区指導者セミナー(城山観光ホテル・ガレリア)	●幹事協議会(市民文化ホール・市民ホール)	●市民公開講座(市民文化ホール・第一ホール)
●RI会長代理晩餐会(城山観光ホテル・ロイヤルG)	●第一本会議(市民文化ホール・第一ホール)	●友愛の広場(市民文化ホール・エントランス)
	●RI研修セッション(市民文化ホール・第一ホール)	
	●懇親会(城山観光ホテル・エメラルド)	
	●ロータリー広報館(市民文化ホール・第二ホール)	
	●友愛の広場(市民文化ホール・エントランス)	

皆様と一緒に楽しめる地区大会にしたいと思います。多数のご参加を心よりお待ちしております。



国際ロータリー第2730地区

■大会事務局:〒890-0056 鹿児島市下荒田1-1-20 そうごビル2F TEL.099-202-0555 FAX.099-202-0556

2012~2013年度ガバナー
大会実行委員長

山下 皓三
南 徹